



認定こども園美祢幼稚園

えんだより

3月（弥生 やよい）の抄

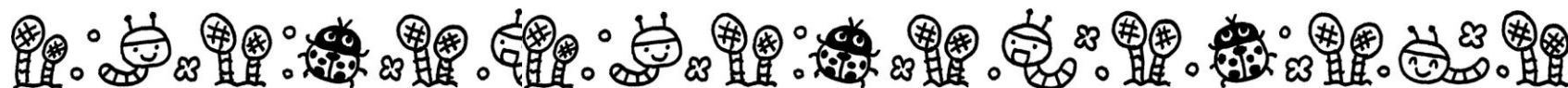


一度しかない人生の中で、かけがえのない乳幼児期に大切なお子さまを美祢幼稚園でご縁を頂き感謝致します。残り1か月楽しく過ごしていきましょう。

今年度は創立70周年という記念すべき年になり、皆さまに感謝の1年でした。そして、これから少子化の時代に改めて、乳幼児期の子どもたちと過ごせる時間を大切に過ごしていきたいです。偏差値より経験値を大事に、豊かな自然に恵まれ、走ったり、ぶつかったり、笑ったり、泣いたりしながら、お友だちと成長し、先生と成長し、おうちの方々も成長し、あふれる温もりに育てられた1人1人の園児たちは幸せだと思います。当り前のことが当たり前じゃなかったと気づいた時、「ありがとう～」を心から思います。

どんなに頭が良くても心が折れやすい人は、社会にでた時に挫折し大変な人生になると思います。心の成長には「ほめること」の大切さが近年よく言われます。ただ褒めるのではなく、結果を褒めるだけでなく、大切なことは「努力していること」「過程を褒めること」が大事だと思います。例えば、マラソンで走っている時に「頑張れ～」と応援されると元気がでて、最後まで走り切ったことはないでしょうか。もちろん優勝すれば嬉しいですし、表彰されることは嬉しいですが、走っている途中の応援で、頑張る力を得られた結果だと思います。

これからも子どもたちへ「すこやかに ころろゆたかに」と、心と身体が育っていって行くように声をかけ、褒めてあげたいと思います。



～ひな祭り（3月3日）～

五節句の一つで、「桃の節句」ともいい、女の子の成長や幸せを願うお祭りです。平安時代に行われていた着せ替え人形で遊ぶ「ひいな遊び」と、奈良時代から行われていた紙人形を自分の災いの身代わりにして流す「流しびな」の風習が結びついて、ひな祭りに発展したそうです。

また、3月3日は耳の日でもあります。耳や聴力の重要性を知ること、病気の予防や治療法等の理解を深めることを目的として制定されました。語呂合わせだけでなく、耳などが不自由だったヘレン・ケラーの先生であったサリバン先生が、幼いヘレンに献身的な指導を始めた日と言われています。



～春分の日（3月20日）～

二十四節気のひとつです。太陽がほぼ真東から昇り真西に沈むので、日の出から日の入りまでの長さ、夜の時間が同じになります。「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日として、制定されました。寒い日を耐え、春に芽吹き、育っていきます。その伸びてゆく力をたたえるのが春分の日です。

この日を中心に1週間を彼岸といい、春分の日が彼岸の中日と言います。今、私たちが元気なのは、家族や遠いご先祖さまがいたからです。もうすぐ卒園・進級する子ども達、これからも元気に、「ありがとう」の心を大切に、育ってほしいと思います。

- 1日（土）希望登園日
- 2日（日）健幸まつり（そらいろ）
- 3日（月）誕生日会
- 4日（火）ネイチャーゲーム（きいろ）
- 6日（木）お別れお茶席（そらいろ）
- 7日（金）カワイ体育教室（幼児部、つぼみ）
- 8日（土）希望登園日
- 11日（火）避難訓練
- 12日（水）英語（そらいろ、きいろ）
- 13日（木）ぴよぴよらんど
- 14日（金）お弁当日、お別れ遠足
- 15日（土）卒園準備休園
- 20日（木）春分の日
- 21日（金）修了式
- 22日（土）卒園式
- 24日（月）～春休み預かり保育
- 29日（土）入園準備休園

土曜日利用について

4月の希望登園日は、**12日、26日**です。
利用希望の方は3月19日（水）までに、用紙を提出して下さい。期限を過ぎての申込はお受けできないこと、ご了承ください。

3月のねらい

そらいろ組

○ありがとう幼稚園

幼稚園生活のまとめとして、お世話になった幼稚園に対して感謝の気持ちをもつ。

きいろ組

○もうすぐ年長組

小さい友だちのお世話を通して、年長になる自覚と喜びを持つ。

ももいろ組

○もうすぐ年中組

進級の喜びと期待を持ち、友だちと生活することの楽しさを味わう。

つぼみ組

○もうすぐ年少組

進級への憧れを持ち、先生や友だちとの関わりを楽しむ。

ひよこ組・ひな組

○みんな仲良く

友だちとの関わることを喜び、一緒に遊ぶ。